

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 29 日 (2006.6.29)

【公表番号】特表 2005-536248 (P2005-536248A)

【公表日】平成 17 年 12 月 2 日 (2005.12.2)

【年通号数】公開・登録公報 2005-047

【出願番号】特願 2004-529567 (P2004-529567)

【国際特許分類】

A 6 1 M 5/32 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 5/32

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 9 日 (2006.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

軸方向に沿って離れた先端及び後端を有する細長い針台と、
前記細長い針台の先端から軸方向に延びる針と、
前記針を覆う前方の位置と前記針が露出される後方の位置との間を軸方向に往復動し、
前記細長い針台に取り付けられる収容ケースとを具備し、
前記収容ケースは、始めは前記前方の位置にあり、前記後方の位置に移動可能であって、
前記細長い針台に対し当該後方の位置で保持され、軸周りに回転することで前記前方の位置に戻るよう解放されることを特徴とする針アセンブリ。

【請求項 2】

前記細長い針台において、向かい合った一对の第 1 及び第 2 側面で画定された長さ方向の部分が略矩形の断面であり、
また、前記収容ケースが向かい合った弾性部材を有しており、当該弾性部材は前記細長い針台の向かい合った一对の側面に係合するように構成されている、
請求項 1 に記載の針アセンブリ。

【請求項 3】

前記収容ケースの後端が、二股の構造を有しており、向かい合った前記弾性部材を画定する、請求項 2 に記載の針アセンブリ。

【請求項 4】

最初に前記弾性部材が前記細長い針台の向かい合った一对の第 1 側面と係合しており、その向かい合った一对の第 1 側面の後端が、前記向かい合った弾性部材を保持する第 1 傾斜となっている事で、使用時に前記針が露出される前記後方の位置において前記収容ケースが保持される、請求項 2 に記載の針アセンブリ。

【請求項 5】

前記細長い針台が前記第 1 傾斜の後方の少なくとも一部に円形断面部を有しており、当該少なくとも一部の円形断面部は、前記収容ケースが後方の位置にある時に収容ケースが針台に対して軸周りに回転可能なように前記向かい合う弾性部材と係合し、回転後に、向かい合う弾性部材が、細長い収容ケースにおける向かい合った第 2 側面に対して位置合わせされる、請求項 4 に記載の針アセンブリ。

【請求項 6】

前記向かい合った一对の第 2 側面の先端が、前記向かい合った弾性部材を保持する第 2 傾斜となっており、これにより前記収容ケースを前記針が保護される前方の位置に保持する、請求項 5 に記載の針アセンブリ。

【請求項 7】

前記向かい合った弾性部材と前記針台の第 2 傾斜の前方に備えられた外側平面との係合によって前記収容ケースが前方の位置に保持される時、前記収容ケースが前記針台に対し回転できない、請求項 6 に記載の針アセンブリ。

【請求項 8】

前記細長い針台は、軸方向に延びる第 1 及び第 2 側面を画定する断面を長さ方向に少なくとも一部有し、軸方向に延びる前記第 1 及び第 2 側面は、軸周りに所定角度をおいて配置されており、

前記収容ケースは、針が露出している間は前記細長い針台の軸方向に沿って延びた第 1 側面に係合し、前記針が覆われている間は前記細長い針台の軸方向に沿って延びた第 2 側面に係合する前記弾性部材を有する、

請求項 1 に記載の針アセンブリ。

【請求項 9】

前記収容ケースが前記前方の位置に偏するよう、前記収容ケースと前記細長い針台との間に圧縮バネが配置されている、請求項 1 に記載の針アセンブリ。

【請求項 10】

前記針が、前記細長い針台の軸方向に貫通し延びて、また、前記針台の後端から延びている、請求項 1 に記載の針台。

【請求項 11】

軸方向に沿って離れた先端及び後端を有する細長い針台と、

前記細長い針台の先端から軸方向に延びる針と、

前記針を覆う前方の位置と前記針が露出される後方の位置との間を軸方向に往復動し、前記細長い針台に取り付けられる収容ケースとを具備し、

前記収容ケースは、使用前に前記前方の位置にあり、前記後方の位置へ移動可能であり、前記後方の位置で使用中に保持され、使用後に前記前方の位置に戻るよう解放可能であり、前記前方の位置でロックされることを特徴とする針アセンブリ。

【請求項 12】

前記針台は、使用中に前記後方の位置で前記収容ケースを保持するために前記収容ケースと共に機能する保持機構を有し、また、使用後に前記前方の位置で前記収容ケースをロックするために前記収容ケースと共に機能するロック機構を有する請求項 11 に記載の針アセンブリ。

【請求項 13】

前記収容ケースが使用後に、前記保持機構から解放され、続いて前記ロック機構と係合するため、軸周りに回転するように、前記保持機構および前記ロック機構が、軸周りに所定の角度をおいて配置されている請求項 12 に記載の針アセンブリ。

【請求項 14】

前記収容ケースが前記前方の位置に偏するよう、前記収容ケースと前記細長い針台との間に圧縮バネが配置されている請求項 11 に記載の針アセンブリ。